

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	038	事業名	女性消防クラブ運営事業	担当部課	くらし文化部安心安全課
------	-----	-----	-------------	------	-------------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ 人がいきいきとつながるまち	会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	✓ 「あんしん」～助けがなかったら生きていけない人は全力で守る～	予算区分(款 - 項 - 目)	
	第6次総合計画・基本目標	✓ 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち	8-1-2 非常備消防費	
	法定受託事務の有無	—		
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 長久手市女性消防クラブ規約		
事業開始の背景、経緯等		昭和57年に設立した長久手市女性消防クラブの活動を支援し、安定した活動を継続できるようにする。		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 女性消防クラブ員が初期消火、火災予防普及啓発活動及び初期消火指導ができるように支援する。		
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 女性消防クラブ員、市内6か所に配備した軽可搬ポンプ		
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) クラブ活動中の怪我等に対する補償。災害時に即時対応できるよう資機材の整備。		
	事業を構成する事務事業(B票)	① 女性消防クラブ活動支援事業	改善・見直し	④
		②		⑤
		③		⑥

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	決算	予算	-	166	150	246
決算				-	90	117	169	
人件費(B)	千円	決算	-	-	-	4,769		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	-	-	-	4,938		

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A	軽可搬ポンプの点検整備	台	目標	-	6	6	6
実績				-	6	6	6	
B			目標					
			実績					
C			目標					
			実績					
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 市内6か所に配備した軽可搬ポンプを適切に運用できるよう整備する。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 消防の広域化により、担当課が移管となり、ノウハウやマンパワーの不足が顕著となった。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 年次点検は実施できたが、月次点検ができなかった。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 消防の広域化により、過去の状況は不明。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 資機材整備の他にクラブ員の損害補償を実施しているが、対象者の精査が必要。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 資機材整備については、継続し維持管理していくが、経年劣化を考慮した整備を検討する。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 引き続きクラブ活動を支援していくが、活動実態に合うような支援をしていく。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	
------	-------------------------	--

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	女性消防クラブ運営事業		担当部課	くらし文化部安心安全課	決算書ページ	—
事務事業名	①	女性消防クラブ活動支援事業	予算区分	8-1-2 非常備消防費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	昭和57年度	終了(予定)年度	—		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 長久手市女性消防クラブのクラブ活動に対する支援を実施する。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) クラブ活動中の怪我等に対する補償。 災害時に即時対応できるよう資機材の整備。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算 決算	— —	166 90	150 117	246 169	263
<備考：事業費の主な内訳(30年度(2018))>							
(1)		消耗品費				72千円	
(2)		手数料				52千円	
(3)		損害保険料				45千円	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
軽可搬ポンプの点検整備	台	見込 実績	— —	6 6	6 6	6 6	6
<備考：活動の概要(30年度(2018))>							
市内6か所に配備した軽可搬ポンプの年次点検整備を実施する。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

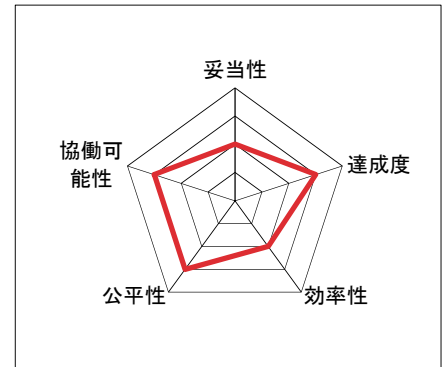
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
消防の広域化により、担当課の変更が行われた。

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
246千円	263千円	17千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	※新規行政評価対象	
・前年度【コメント】		
新規行政評価対象		
(3) 改善状況		
(何をどのような状態に改善したのか)		
—		

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	3
効率性	2
公平性	3
協働可能性	3



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数(人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	115	113	113	60
実績	115	113	113	
(2) 協働の状況(30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
クラブ員は全員市民である。				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
クラブ員の活動中の負傷等に対応するため、損害補償を行った。 防災訓練で軽可搬ポンプを使用した訓練指導を実施した。 クラブ員研修で、軽可搬ポンプの取扱い習熟を図った。

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
クラブ員の活動は、構成員と実際の活動員に差があるので、精査する。

## 7. 今後の方向性

**改善・見直し**